



*De La Salle University  
College of Law*

*Spring Law Course 2014*

2014年度 明治大学 法学部  
デ・ラ・サル大学春期法学研修  
報告書

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 教員あいさつ・・・・・・・・	2
2. Introduction to De La Salle Spring Law Course.....	3
3. About De La Salle University.....	4
4. Schedule.....	5, 6
5. Lecture.....	7
6. The Life in Manila.....	8
7. デ・ラ・サル大学からのメッセージ.....	9, 10
8. 参加者からのメッセージ.....	11, 12
9. 現地の生活で必要なもの.....	13
10. 2014年度研修概要・編集後記.....	14



マニラ市内にあるサンチャゴ要塞

# 1. 教員あいさつ

## 世界へはばたこう

法学部長 間宮 勇

明治大学法学部は、フィリピンのデ・ラ・サール大学法学部と提携して、2014 年 3 月からデ・ラ・サール大学春期法学研修を実施しています。

この研修では、デ・ラ・サール大学法学部の教員や弁護士から直接フィリピンの法律や司法制度を英語で学びます。「英語で法律を学ぶ」と聞くと、とてもハードルが高く思えるかもしれませんが、こちらの研修は 1 年生からの参加が可能です。渡航前の事前学習はもちろんのこと、研修先では現地学生のサポートもありますので、海外経験がない学生でも挑戦できる環境が十分に整っています。また、研修の一環として実施される国会議事堂、裁判所、法律事務所などへのフィールドトリップでは、フィリピンの政治と法の現場を身近に実感することができ、さらに、現地の学生・教員との各種の文化プログラムは、フィリピンの歴史と文化と社会をより深く知る機会になると確信しています。

プログラムを終える頃にはきっと、海外でやり抜く力と自信がついていることを実感できるでしょう。ぜひ、日本を飛び出して世界に羽ばたきましょう。

## For Mutual Understanding

Associate Dean Teruhisa Komuro

It is really regrettable that many Japanese people do not know yet about the history and culture of the Philippines, and there are not so many opportunities for Japanese law students to study law of Pilipinas, although more than 200,000 Filipino people live in Japan and the two countries have close relationship on trade and investment.

Meiji University School of Law and De La Salle University College of Law have launched short-term study abroad courses in Manila and in Tokyo for law students to understand and respect law and culture of the Philippines and Japan, and to be able to improve this friendly relationship between the two countries.

For Meiji students, the program in Manila must be a challenge and well worth joining. We are seeking for participants who are eager to study the law of the country and to feel its culture and warm hearts of the people in the Pearl of the Orient!

## 2. Introduction to De La Salle Spring Law Course

私たちは2015年3月1日から15日までの約2週間、2014年度デ・ラ・サール大学春期法学研修に参加しました。

本研修は、ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ夏期法学研修と同様、「法律で英語を学ぶプログラム」として昨年度から実施されています。研修は全て英語で行われますが、2週間という短期研修ですので、初めて海外に行く方、また将来長期留学を考えている方にとってはステップアップとして最適な研修だと思います。

研修では現地の大学の教員から直接フィリピン法を学びます。幅広い法分野を学びますが、フィリピン法の基礎から丁寧に学びますので1、2年生でも十分理解ができるでしょう。ユニークな先生方の授業はとても楽しかったです。最終日には **Introduction to Philippine and Legal Profession** として修了証書をもらうことができます。授業以外にもフィールドトリップや遠足など、多彩なプログラムが設けられている点が本研修の大きな魅力です。国会議事堂の見学や裁判の傍聴ではフィリピンの法実務、政治を知り日本との違いに驚きました。一方で、週末にはビーチや自然公園に行き、美しい自然に癒されました。

現地でのサポートも大変充実しています。デ・ラ・サール大学の学生が生活面、勉強面でサポートしてくれます。フィリピンの人々はみなさん気さくで困ったときは何度も助けてくれました。移動の際は大学関係者が同行してくれるので治安についての不安は全くありません。

フィリピンは文化も言語も日本と異なっています。最初はそのような環境で生活するのは大変かもしれません。しかし日本では得られがたい経験をし、自分を見つめなおす視点を持つことができるのは確かです。研修後にはきっと前とは違った、成長したあなたになっているはずだと思います。



### 3. About De La Salle University

デ・ラ・サール大学は、1911年にフィリピン初のキリスト教系大学としてマニラに創設されました。国立フィリピン大学、私立アテネオ・デ・マニラ大学に並んで、フィリピンの名門大学の一つとなっています。研修を行った **College of Law** の司法試験合格率は国内トップクラスを誇り、優秀な学生が集まっています。学生数は1万5000人規模の大きな大学です。留学生も多数受け入れており私たち以外にもたくさんの留学生が見受けられました。



デ・ラ・サール大学 図書館

フィリピンでも1, 2を争う裕福な学校で、敷地面積も広く、大きな図書館、屋内プール、ジムなど設備が充実しています。また、エントランスでは治安対策のために厳重なIDチェックがおこなわれているので不安はありません。大学では、ラグビーや、女子バレーボールなど、スポーツも盛んに行われていました。大学周辺にはカフェ、日本のコンビニ、ファーストフード店などがあり大変便利です。マニラ市内は交通量が多く、絶えず車が走り交っていました。



マニラ市内の風景

校内のパティオ

休み時間には、学生たちが中庭に集まり、サークル活動やダンスの練習など思い思いの時間を過ごしていました。日本の文化の研究を行うサークルもあり親しみを感じました。校内には緑も多く、時間がゆったりと流れています。

## 4. Schedule

大変充実した2週間を送ることができるものになっていました。実際の予定は前日に決まることもあったのですが、そのためもあってか柔軟性に富んでおり、私たちにとってベストなスケジュールリングをしてもらえます。

	Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
Week1	1-Mar	2-Mar	3-Mar	4-Mar	5-Mar	6-Mar	7-Mar
9:00 ~ 10:30	現地到着	学校案内					自由行動
10:30 ~ 12:00							
13:00 ~ 14:30							
14:30 ~ 16:00							
16:00 ~	食事会	食事会					
Week2	8-Mar	9-Mar	10-Mar	11-Mar	12-Mar	13-Mar	14-Mar
9:00 ~ 10:30	プレゼンテーション準備日				遠足		プレゼンテーション当日
10:30 ~ 12:00							
13:00 ~ 14:30							
14:30 ~ 16:00							
16:00 ~		食事会				プレゼン準備	食事会
Week3	15-Mar						
9:00 ~ 10:30	日本到着	<div></div> 法律の授業 <div></div> その他(現地担当者主催ディナー等) <div></div> フィールドトリップ					
10:30 ~ 12:00							
13:00 ~ 14:30							
14:30 ~ 16:00							
16:00 ~							

### Excursion

今回の研修の中には、勉強やプレゼンテーション準備の息抜きの機会として、いわゆる遠足のようなものが含まれていました。遠足は自分たちで行きたいところを決められて、現地の担当の方々がその要望に応じて連れて行ってくれます。今回私たちはビーチに行ってきました。





## Field Trip

今回私たちが訪問したフィールドトリップ先は、日本で相当する場所であればなかなか訪問することが出来ない場所でした。地方裁判所、上訴裁判所、通商産業省、市役所、法律事務所、国会、マニラ教会など、たくさんの場所に行くことが出来ました。また裁判所では最前列で傍聴することができたり、あらゆる場所で現役の専門職の方々とディスカッションすることが出来たりと、自分次第でとても有益な時間を過ごすことが出来ます。



## Presentation

最終試験であり、研修最大の山場であるプレゼンテーションは、この研修を通してフィリピンについて私たちが関心をもったことを、パワーポイントにまとめて発表するというものでした。今回私たちは、家族法と刑事訴訟法の2グループに分かれて、フィリピン法を日本法との比較を交え発表しました。このプレゼンテーションはもちろん英語で発表するものなので、準備に時間がかかり大変でした。



オーディエンスとしてたくさんの学生に集まってくれていただくことができ、大変緊張した反面、嬉しくも思いました。

私はこのプレゼンテーションを終えたあと、やりきった達成感、充実感、そして自信を得ることが出来ました。またその一方で、デ・ラ・サール大学の学生たちには大変感謝しています。私たちがこのプレゼンテーションを無事に終えることができたのも現地の学生たちの協力のおかげです。

## 5. Lecture

今回の法学研修では、デ・ラ・サール大学の教師陣による、フィリピンの法律についての特別授業を受けることができました。語学留学ではないため語学のための講義はありませんが、現地の講師の方々がゆっくりとわかりやすい英語で講義を行ってくださったので、英会話が多少苦手な参加者でも、十分に概略を掴むことができました。

講義のある日は、午前1コマ、午後1コマ（1コマは90分）という割と余裕のある時間割でした。しかし、講義はすべて英語で行われるため、かなり脳が活性化されます。空き時間である昼休みに、次の授業についての予習を参加者と一緒に話し合い準備するため、一瞬たりとも気を抜くことはできません。とくに、先生の話を一通り聞き、その後に行われるディスカッションの中で、自分の意見を英語で簡潔に述べるという、日本の講義とは一味違った授業もあります。大変緊張しましたが、様々な人の多種多様な意見を聞くことができとても新鮮でした。また、現地の講師の方々は日本法とフィリピン法との相違点についてとても興味があります。そのため講義の所々で、日本法についての質問を受けることが多々



知的財産法の授業風景



緊張のディスカッション！

あるため、日本法の該当箇所を簡単に英語で説明できるように準備してから授業に臨む事が重要となります。さらに、授業は大学の中だけで行われるわけではありません。直接弁護士事務所に行き弁護士の方々の執務室や、過去の判例などの資料がずらりと並ぶ資料室を一通り見学した後、その職員の方々とのディスカッションをし、意見交換を英語で行うプログラムもあります。現地弁護士によるフィリピンの司法に関する生の意見を聞くことができた、貴重な体験となりました。

### 授業内容

憲法・民法・刑法・労働法・知的財産法・婚姻法 など

## 6. The Life in Manila

### ・食事

今回私たちはフィリピンの食文化に触れ、ある点に気づきました。それは、思いのほか日本食の文化が取り入れられているということです。焼肉(和牛)、たこ焼き、かつ丼、ラーメン、寿司などなど、多少違う部分はあるのですが、様々なものがありました。



もちろん、現地発祥の食事もいただきました。有名なものの一つにハロハロがあります。これはデザート的一种で、お店によっては入っている中身が変わってきます。ハロハロとは「ごちゃ混ぜ」という意味だそうです。



### ・交通手段

フィリピンの交通手段の一つに電車があります。フィリピン国内では広く普及していて、多くの人が利用しています。そうは言っても現地の方が言うには「エアコンが効いていなくて、暑い」ということで、改善の余地もまだ残っているようです。



他には車を所有している人も多く、交通量は想像を超えるものでした。車でお出かけということになると、渋滞は避けられないので、早い時間から出発することになります。乗車中に驚いたのは、横の車との距離がかなり近かったということです。片側二車線以上の道路上では、手を伸ばせば簡単に届いてしまう程の距離でした。

### ・風景

フィリピンはとても自然豊かなところでした。少し町を抜けると、山や海を見ることが出来ます。しかし、その一方で、近代化が目まぐるしく推し進められていると感じられる一面もありました。



街には高層ビルも建っており、また建設中のものもありました。それから途上国の雰囲気を感じさせない、テーマパークのようなものもあり、思わず感嘆してしまったのを覚えています。今回の研修でフィリピンの見方がガラリと変わりました。



## 7. デ・ラ・サール大学の学生からのメッセージ

デ・ラ・サール大学の学生から明治大学の研修参加希望者へのメッセージです！



**Celyne Klaire L. Esden**  
***The President of the Law Student Government***

Greetings in St. La Salle!

On behalf of the Law Student Government of the College of Law, I'd like to welcome students from Meiji University to our beloved Alma Matter, De La Salle University.

DLSU launched its very own law school last 2010 in line with its vision-mission of being a leading learner-centered research university, bridging faith and scholarship in the service of society, especially the poor. Now on its fifth year, the College of Law continuously aims to serve as a means not only to equip the country's young aspiring lawyers with technical knowledge and skills, but more importantly, to infuse social awareness, compassion and genuine love of country. In a more familiar language, these translate to advancing our very own La Sallian core values of Religio, Mores, Cultura.

Being part of the ever-growing community of the College of Law, the Law Student Government provides for student services and assistance that make each student's learning experience enjoyable and worthwhile. To broaden partnership and training, the College of Law and all organizations including the LSG welcome foreign exchange students and recently students from your prestigious institution, Meiji University. The program made foreign students participate in classroom exercises, court visits and a tour on some tourist spots. As the College of Law endeavors to make this a continuous partnership between De La Salle University and Meiji University, I invite every student from your University who are interested to be part of the program and look forward to welcoming you here in Manila. The Law Student Government is very much open for any collaboration that will involve students from both DLSU and Meiji University. Welcome, Mabuhay and Animo La Salle!



**Alvin Angelo C. Rufino**  
***The President of the International Law Society***

Greetings in St. La Salle!

On behalf of the De La Salle University International Law Society, I would like to encourage students of Meiji University to avail of the exchange-student program our schools tied up for.

DLSU Law is a new College that aims in providing excellent education to its students. Similar to all the programs offered by the University, which have been always on topmost position when it comes to licensure examinations, the College of Law has as well set, at the outset, a topping record as to the passing rate in the 2014 bar examination. It placed second to University of the Philippines, which has been present all along producing great lawyers with other well-known Universities. Now on its fifth year and preparation period for the 2015 bar examination, the College of Law continuously aims to develop the College, including but not limited to its students, not only to improve or at least maintain the established ranking but as well as incessantly advance in the field of law both in theory and practice.

DLSU College of Law has its core courses where it endeavors to be excellent for, and they are Human Rights, Business, Environmental, and Labor Laws. While these are those specific fields of interests, the College does not limit itself and its students in developing and practicing in other grounds as the same caters to every aspect of the law.

In DLSU Law, we are being molded into a holistic individual equipped not only with legal knowledge but also refined in practicality. We are being trained to shine scholastically while we are allowed to engage in extra-curricular activities that frames us to be a well-rounded individual. For two years of stay in the University, great service, best facilities, Grade A Professors, are the utmost concern a law student like me could ask from a reputable school, and I must say, De La Salle University impresses me with all these. Joining this exchange-student program certainly expands the limit a student can go. The program drives beyond the classroom learnings where well-qualified Professors teach in their respective field of expertise as to Philippine laws. Cultural immersion, visit with the offices of the three branches of the Government, Malacanang, Senate and Congress, and familiarity with different Philippine Courts of the Judiciary. Other places which highlight Philippine art, music, and literature may as well be in the program. At the end of the course, exchange students are expected to be at least familiar with the basic legal system of the Philippines and will be able to compare it with Japan's. In the accommodation we held last February 2015 for Meiji University students, we made sure that they will not only learn but also enjoy the experience and we hope we are able to fulfill our goal. We are very much excited and looking forward to the next batch of students from your University. Welcome and Animo La Salle!

↓ こういう学生たちと友達になれます！ ↓



**Alyssa Buera**  
*1<sup>st</sup> year Law Student*

Exchange student programs are not only about learning laws and each other's cultures, it's also about establishing networks and making friends. These friends are the ones who make you realize that we have so much more in common after all. Finally, that the friends you will make are guaranteed to help you in any way they can.



**Michelle Carillaga**  
*2<sup>nd</sup> year Law Student*

The exchange program of DLSU together with Meiji University is such an amazing experience. Learning about the difference between Japan and Philippine laws are very interesting. Also, visiting wonderful places around Luzon which makes the program a lot more fun and enjoyable.

Every dinner with the Meiji students and every time we spent together is a treasure! I hope more Japanese students will be interested in joining the program. We are all excited to meet new students and to tour them around the campus and places in the Philippines! This program is an experience I will never forget!



**Kayelyn Lat**  
*2<sup>nd</sup> year Law Student*

"It is indeed of great help for students in their career to explore the world. And this is the reason why externship programs exist. The De La Salle University provides for facilities and activities that will definitely hone one's skills in the field they wish to pursue. The institution is known for being diverse, when it comes to debate competitions and exposure programs where students actively participate, may it be in the local scene or in the international arena. A visit to Philippine courts where the judicial system is practiced, as well as to historical landmarks all over the country where you get to see and learn our own traditions, is a good example. It is a once in a lifetime opportunity. Grab it."

## 8. 参加者からのメッセージ

### 深井駿(Shun Fukai)

僕がこの研修に参加した理由は、日本とは違う世界を少なくとも一度この目で見てみたいと思ったからです。フィリピン法を学び日本法と比較することで、現行法の改善点を考えたり歴史を学ぶことができました。研修の前と後では考え方を変えることができたと思います。この研修に参加しフィリピンに行くことで、春休みを有意義にできることは間違いありません。また現地では心優しい学生たちがサポートしてくれるので心配はいりません。この冊子を読まれて、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

I wanted to see the world different from Japan at least once is the reason why I joined this program. I could think about points to be improved of law and learn history by comparing laws. I could change a way of thinking. You can make good use of your spring vacation. There is no need to worry because kind students will help you in Philippines. I would be happy if you become a little interested in this program from reading this pamphlet.

### 三宅朝子(Asako Miyake)

この冊子を読んで、研修に参加してみよう！と思ってくださった方がいたら、とてもうれしいです。私にとってとても有意義な春休みを過ごすことができたからです。一方この冊子を手にとった人の中にはまだ参加を迷っている人もいます。

近年、日本企業と東南アジア諸国との取引は活発になっています。私たちが社会に出た後何らかの形でかかわる機会は今以上に増えていくのではないのでしょうか。その際に学生時代のフィリピンへの留学経験はきっと役に立つと思います。異文化に触れることで大きな驚き、広い視野が得られました。多くの方がこの研修に参加してくれることを祈っています。

Thank you to read this pamphlet. If you decide to join this program by this pamphlet, I can't get any better than this! My spring vacation was the most beneficial time I have ever had. On the other hand, I guess that some people are at loss whether to join or not.

In recent year, globalization increases the transaction between Japan and Southeast Asia. You may have opportunities to have connection with these countries after graduation. I am sure that this program will help you in the future. Intercultural interaction brought me agreeable surprises and broad outlook. I really hope many students join this program.

### 関口勝仁(Masahito Sekiguchi)

このプログラムに参加して英語力向上はもちろんのこと、フィリピンについて今まで僕が知り得なかったフィリピンから日本に対する態度や考えを直接現地で聞いたことはかなり勉強になりました。このプログラムはただ単に英語力を養成するというだけではなく、フィリピンと日本の歴史的関わりや今の関係性を知り、そこからどう日本はフィリピンとよりよい関係を築いていくか、自分たちには何が出来るのかについて考えさせられるプログラム内容となっていると思います。もしこの研修に参加しようか迷っている

のであれば、行くべきです！自分を成長させる機会になりますし、世界観が変わると思います！ぜひ、僕からオススメさせていただきます！

I participated in this program and learned a lot, not to mention the improvement of my English abilities, but also the attitudes or the thoughts of the Philippines toward Japan directly, which I wasn't able to get to know when I was in Japan. This program doesn't merely train the participants' respective English abilities but this program content could make you consider about how to make Japan and the Philippines an even better relationship and what you, as an individual, can possibly do by getting to know the historic relations and their present relationship between the Philippines and Japan. If you're wondering about participating this program, you should definitely go! It'll be a great opportunity to bring yourself up and will make your view of the world change! I'll highly recommend it by all means!!

### 澤田向陽(Koyo Sawada)

この法学研修では様々なことを得ることが出来ました。僕は今回が初めての海外渡航だったのですが、そこまでカルチャーショックを受けることはなかったです。ただ、自分が知っている世界とは違う世界を初めて見てみて、考え方が柔軟になったと思います。いままで自分は、ニュースで海外を知ることはあっても、実際自分の肌で感じるほど海外を意識したことはありませんでした。しかし、この研修を通して、自分は日本という世界の中の一つの国で、日本人として暮らしているというような、より視野が広い見方が出来るようになりました。この経験が今後どのように生きてくるのかはまだはっきりしないところですが、フィリピンだからこそできる経験がここにはありました。

I could gain a lot of experiences. It is the first time to go abroad for me, but there is no culture shock. There is, however, a change of thought because of experience in other world. Before I went to the Philippines, I did not realize and feel the world though I got its information from news. But through this course, I could get a broad view of things that I am one of member of the world as Japanese living in Japan. I do not know the way to put this experience to good use. However, it is sure that there is experience you can meet only in the Philippines.

### 和泉賢飛(Kento Izumi)

フィリピンに行く前、僕は英語がほとんどしゃべれなかったので、フィリピンでうまくやっていけるか不安でした。しかし、現地の学生やスタッフの方々が英語に不慣れな僕に対しても、とてもやさしく接してくれたので、2週間の研修を無事終えることができました。短い期間でしたが、大変充実したプログラムを企画運営してくださった方々すべてに、感謝したいと思います。ありがとうございました。

Before going to the Philippines, I could speak English a little, so I was worried whether I could manage well in the Philippines. But Philippine students and staff were very kind to me, so it was possible to finish studying 2 weeks safely. It was a short period, but I'd like to thank all persons who managed planning for a very full program. Thank you very much!

## 9. 現地の生活で必要なもの

フィリピンでの生活は日本とは大きく違います。現地での生活で不便のないように、もっていった方がよいと思われるものを紹介します。参考にしてください。

### ☆持ち物

手荷物に入れておくもの

パスポート、パスポート入れ（首からかけるタイプのものが多いです）、航空券、海外旅行保険証、国際学生証（発行した方のみ）、研修校の資料、携帯電話、パソコン、電子辞書、洗面用具、化粧品、筆記用具、マスク、常備薬、のど飴

スーツケースに入れておくもの

衣類、タオル、サンダル、水着、通学用のバック、雨具、文法書、参考書

これらは必要最低限のものです。各自必要と思うものを加えて持っていきましょう。

### ☆衣類

現地は高温多湿でとても暑いですが、室内はクーラーがかかっていて寒く感じることも多かったです。半袖のシャツだけでなく、薄手のカーディガンやパーカーなどを持っていくとよいと思います。裁判所や国会に行く際にはフォーマルな格好としてポロシャツなど襟のついたものとジーンズでない長ズボンを着ますので、このような衣類の準備も必要です。

### ☆食べ物

フィリピンの食べ物は味が濃くオイリーで甘い味付けのものが多いです。もちろん日本の食べ物が恋しくなります。そこで味噌汁、お茶、自分の好きなお菓子などを持っていくとホームシックになることを免れられるかもしれません。ちなみに僕は三日でホームシックになりました。

### ☆生活用品

生活用品は基本的にコンビニで買うことができます。しかし、シャンプーや洗顔料などは自分が普段使っているものを持っていっていったほうがよいと思います。

### ☆ネット環境

滞在するホテルにネット環境はありますが日本と比べると通信速度が遅くなかなかつながりません。ポケット Wi-Fi を持っていくとよいと思いますが、レンタルしたものは使い物にならない場合があるので注意してください。

### ☆常備薬

風邪薬、胃腸薬、頭痛薬などを持っていくとよいでしょう。参加者5人中2人が風邪、1人が頭痛、1人が腹痛でダウンしました。何事もなく生き延びることができたのは1人だけでした。薬類は忘れないように。それから酔い止めも必須です。

## 10. 2014年度研修概要

### ○期間

2015年3月1日（日）～2015年3月15日（日）

### ○参加人数

5人

### ○研修校

De La Salle University College of Law（フィリピン・マニラ）

### ○滞在先

Taft Tower Hotel（朝食付き）

### ○研修費用

¥275,000（現地での食事代などは除く）

### ○単位認定

現地での最終試験（プレゼンテーション）、法学部での事前、事後学習での参加理解度を総合的に判断し、翌年度集中法学部科目として成績評価を行い2単位を付与。

## ●編集後記

### ・深井 駿

この冊子を作成しているうちに、現地での記憶を思い出しました。僕は三日でホームシックになったのですが、帰国する時には悲しみを覚えるほど楽しい日々を過ごすことができました。この冊子を最後まで読んでくださった方、ありがとうございます。

### ・三宅 朝子

この研修の魅力を最大限に伝えようと意識して作成しました。写真を見返し、現地では本当に良い経験ができたと思っています。ぜひできるだけ多くの人に参加してほしいと思います。

### ・関口 まさ

僕はデ・ラ・サール大学の学生のメッセージページを担当しましたが、現地の学生とFacebookなどの媒体を使って連絡を取りました。色々コミュニケーションの面で大変な部分もありましたが、いい内容になったと思います！

### ・こーよー

僕は「Schedule」「Life in Manila」を担当しました。今回得たものを皆さんに伝えられるよう編集しました。また皆さんの将来の参考の意味でも、少しこの研修に興味をもって頂けたら嬉しいです。

### ・和泉 賢飛

報告書をまとめている間、現地での充実した日々が鮮明に思い出され、また機会があればフィリピンに行きたいと思った。この冊子を読んでもくれた方々にも当プログラムにぜひ参加してほしいと思う。



デ・ラ・サール大学春期法学研修 WEB ページ

<http://www.meiji.ac.jp/hogaku/dlsu>

発行：明治大学法学部